



かさおか



暑中お見舞い 申し上げます



笠岡港の白灯台沖を航行する三洋丸 昭和40年代

「笠岡今はむかし物語」

笠岡諸島が大勢の海水浴客で賑わった頃のこと、木造船に子供や大人が鈴なりに乗っていた風景を思い出します。当時、三洋汽船が運航していた木造船は、三洋丸、第2三洋丸三笠丸、衣笠丸などが良く知られ、中でも一番大きい第2三洋丸は300人の定員を有し、船体の中程にある機関室から響く音は独特のものでした。また、正面から船尾にかけての艀装も車の様にそれぞれの特徴がありました。少し遠くからでも「〇〇丸」だと分かりました。実は、母親の里が北木島だったので小学校の夏休みに防波堤から船を眺めながら自然に覚えられたものです。また、北木島には天野屋旅館を始めいくつもの旅館・民宿があったので、夏休みは臨海学校の子供達で大賑わいでした。しかし、時代とともに船旅は変わり「わかば」や「あさなぎ」「ゆうなぎ」などの鋼鉄船が就航し出して木造船の時代が終わりました。懐かしい昔の思い出、本当にのんびりとした時が流れていました。

会長

- 8月5日(水)18:30～
2年第4回総務部会を開催予定
- 8月16日(日)10:00～
2年第4回役員会を開催予定

3密を避けながら
会議をしています。



『笠岡地区まちづくり協議会』

事務所：笠岡市笠岡2627番地
「井戸会館」内

電話：63-5949

Fax：75-0101

E-mail：zukuri2@mx1.kcv.ne.jp

開館日：月・水・金曜日14時～17時

令和2年度通常総会は 書面会議にて開催

新型コロナウイルスの感染防止対策のため、本年度の総会は書面による議決をお願いしました。

その回答結果を取りまとめましたのでお知らせいたします。

委員総数83名、回答数68名、回答なし15名で、次の5議案が承認されました。

- ・第1号議案 平成31年度活動報告について
- ・第2号議案 平成31年度収支決算並びに監査報告について
- ・第3号議案 役員の改選について
- ・第4号議案 令和2年度活動計画(案)について
- ・第5号議案 令和2年度収支予算(案)について

◇ 令和2年度の役員紹介

○会 長 榊平一平(再任) ○副会長 黒田英樹(再任・総務部会長兼務)・秋田悦子(再任)
○監 事 大口範子(再任)・宮島武男(再任)

《部 会》

○総務部会長 黒田英樹(新任) ○くらし部会長 池田正晴(再任) ○子育て部会長 藤井陽介(新任)
○福祉部会長 石井澄恵(再任) ○文化部会長 大塚善彦(再任) ○広報部会長 石原 健(再任)

《地区運営委員会・委員長》

○東地区 松井國男(再任) ○西地区 池田正晴(副委員長) ○宮地・浜田地区 笠原一行(新任)
○殿北地区 塩飽和人(新任) ○中央地区 長谷川靖子(再任) ○川北地区 福島良喜(再任)
○住吉・西の浜地区 久保俊宏(再任) ○追分地区 大島好四郎(再任)

《事務主任》 岡本富美子

《地域担当職員》 黒田英樹・辻田美穂 ※田辺浩之さんは4月から消防組合に出向されました。

平成31年度活動報告

事 務 局	令和元年7月から井戸会館へ事務所を移転し、会長と事務主任が常駐して事務処理や来館者の応対等に携わりました。
総 務 部 会	定期的に会議を開いて各部会や役員会との調整に努めました。また、6月総会のアトラクションとして笠岡西中吹奏楽部によるミニコンサートを開き、8月には平成28年2月に続いて2回目となる中学生200人アンケート調査を実施し、中学生との連携を探りました。
くらし部会	災害に強いまちづくりを推進するため、防災マップの作成に向けて井原市出部地区の活動事例を学びました。また、第3回防災学習会を開いて自助・共助の力を培いました。
子 育 て 部 会	28年度に続き、自転車前カゴの「ひまわりプレート」による子ども見守り活動を推進。また、「第6回子どもふれあい祭り」を開催し、親子が昔遊びを通じて親睦を深めました。
福 祉 部 会	事務所周辺の花壇など環境美化に取り組みました。また、多目的スペースを活用して「いきいき100歳体操」や「オレオレ詐欺」の出前講座を開いて拠点づくりに努めました。
文 化 部 会	笠岡町の歴史を知る会は、昭和21年12月21日に発生した昭和南海地震の体験談の聞き取りや、過去の地震記録などをまとめた冊子を編集して200部発行しました。
広 報 部 会	地域みんなの絆づくりを推進するため毎月広報紙を発行しており、令和2年3月には第96号を発行し協議会の活動や防災情報を掲載して住民の意識の高揚に努めました。
地区運営委員会	「分別収集」の出前講座や親睦餅つき大会を開いて地域の活性化に努めました。

平成31年度収支決算報告

「笠岡市交付金分」

【収入の部】

(単位：円)

区 分	予 算 額	決 算 額	摘 要
笠岡市交付金	2,307,000	2,307,000	運営交付金(うち変更申請分250,000)
繰入金	0	0	
合 計	2,307,000	2,307,000	

【支出の部】

(単位：円)

区 分	予 算 額	決 算 額	摘 要
人件費	800,000	794,995	会長・事務主任報酬
管理費	795,000	865,890	事務所の運営経費 うち井戸会館賃借料 80,000、電気水道 94,370 事務室エアコン設置・ネット回線移設 152,020
活動費	712,000	636,116	部会等の活動経費
合 計	2,307,000	2,297,001	

※収入支出差引残額の9,999円は剰余金として市に返還しました。

「事業会計分」

【収入の部】

(単位：円)

区 分	予 算 額	決 算 額	摘 要
繰 越 金	229,901	229,901	
売 上 金	0	23,200	冊子売上(歴史散見集・霊場マップ他)
そ の 他 収 入	0	2,379	コピーサービス、利息等
合 計	229,901	255,480	

【支出の部】

区 分	予 算 額	決 算 額	摘 要
食 糧 費	0	△10,036	ミニコンサート・子どもふれあい祭り参加の中学生パン・ジュース代
繰 出 金	0	0	
計	0	△10,036	

※収入支出差引残額の245,444円を次年度に繰り越しました。

令和2年度活動計画

区 分	活 動 内 容
総 務 部 会	ワークショップを開催してまちづくり協議会の課題解決に取り組む。 講演会を開催して、まちづくり活動の活性化を図る。
く ら し 部 会	防災学習会を開いて自助・共助の知識を培い災害発生に備える。 災害発生に備えるため地域の防災マップを作成する。
子 育 て 部 会	子どもふれあい祭りを開催し、昔遊びを通じて地域の絆を深める。 自転車前カゴ「ひまわりプレート」の普及を図り、子ども見守り活動を推進する。
福 祉 部 会	「町のテラス」の活動を推進する。 事務所前の環境美化に取り組む。
文 化 部 会	笠岡の地震・日本の地震冊子を増版する。 観音札所・四国霊場マップの写真展を開催する。
広 報 部 会	広報紙を発行してまちづくり協議会の活動を紹介する。 防災の知識などを伝えて災害に対する意識を高める。
地区運営委員会	各部会で決定した活動に取り組む。 地域の課題解決に取り組みながら相互の親睦を図る。

令和2年度収支予算

笠岡市交付金分

【収入の部】

(単位：円)

区 分	予 算 額	摘 要
笠 岡 市 交 付 金	2,294,000	運営交付金
そ の 他 収 入	0	
合 計	2,294,000	

【支出の部】

(単位：円)

区 分	予 算 額	摘 要
人 件 費	800,000	会長・事務主任報酬
管 理 費	730,000	事務所の運営経費 うち井戸会館賃借料 240,000 電気・水道代 96,000 会議室等使用料 15,000
活 動 費	737,600	部会等の活動経費
予 備 費	26,400	
合 計	2,294,000	

事業会計分

【収入の部】

(単位：円)

区 分	予 算 額	摘 要
繰 越 金	245,444	

【支出の部】

(単位：円)

区 分	予 算 額	摘 要
繰 出 金	0	

「笠岡町の地名」その④

馬飼越(まかいごえ) : 笠岡 1072 番地から 1549 番地まで。小丸南平と宮地南平の北限で、鞍部になっている所を宮地峠(みやじだわ) 標高 72 米という。タワを越した細長い平地一帯を、馬飼村へ出る道筋なので馬飼越と呼ぶ。

タワの道の西側に一本の大きな松が生えて目印になっていたので「一本松」の峠といたりした。松は枯死して今はないが松の根方に道祖神があり、タワを掘り下げて出来た道の上方にあって、塞(さい)の守りをしている。

タワから北東へ流れる谷川の下流に大砂止(おおすなどめ)が造られている。明治時代に造られた石積の砂防堰堤で珍しいので地名化している。

小丸南平(こまるなんぺい) : 笠岡 1550 番地から 1689 番地まで。小丸山の南から南西にかけての狭小な場所で、宮地の北にあって日当たりが良く、宮地と同じころ開けたものである。

(**林光院**) 真言宗醍醐派に属し、醍醐三宝院直末で開扇山法印寺という。法印寺は法印(修験者)の寺という謂で、寺号ではないと考えられる。本尊が不動明王であるから修験道の信者が多く、檀家は少ない。鎮守に伏見稻荷のお塚「白玉稻荷大明神」を勧請している。

不動明王縁日は旧暦六月一日で石鎚神社と同じ。寺の入り口に亭々として町内から見える大杉が生えていたが、大正の末に枯死した。

(**伝承**) 現住中塚氏によれば、先祖・浅口郡柏島浮田の城主中塚次郎衛門季綱は毛利家に仕えて千八百石であった。柏島落城ののち流浪して笠岡へ

行政区分による現在の地番	
宮地	750 ~ 1676-7
浜田	1677-1 ~ 1682-2



来て八幡道に住居していた。天文八年(天正?)十一月三日、現在地に林光院を建ててから世襲した。寺の井戸を掘った時、貝殻が出土したからこの辺り海であったとかいう。

(**ドンドン**) 宮地川の上流から分岐して浜田の田畑に用水を引いた小溝で、林光院の南を西流して浜田の中心部を通る。今は暗渠で、下水路に使われている。

～次号に続く～

【参考文献】笠岡史談「旧笠岡村地名考」岩山保志



★「新しい生活様式」における熱中症予防のポイント★

新型コロナウイルスの出現に伴い、感染防止の3つの基本である(1)身体的距離の確保、(2)マスクの着用、(3)手洗いや、「3密(密集、密接、密閉)」を避ける等の「新しい生活様式」が求められています。このような「新しい生活様式」における熱中症予防行動のポイントは以下のとおりです。

① 適宜マスクをはずしましょう

- 気温・湿度の高い中でのマスク着用は、要注意です
- 屋外で、人と十分な距離(2メートル以上)を確保できる場合には、マスクをはずす
- マスクを着用している時は、負荷のかかる作業や運動を避け、周囲の人との距離を十分にとった上で、適宜マスクをはずして休憩をとる

② 日頃から健康管理をしましょう

- 日頃から体温測定、健康チェックをする
- 体調が悪いと感じた時は、無理せず自宅で静養をする

③ 暑さを避けましょう

- エアコンを利用する等、部屋の温度を調整する
- 感染症予防のため、換気扇や窓開放によって換気を確保しつつ、エアコンの温度設定をこまめに調整する
- 暑い日や時間帯は無理をしない
- 涼しい服装にする
- 急に暑くなった日等は特に注意する

④ こまめに水分補給をしましょう

- のどが渇く前に水分補給をする
- 1日あたり1.2リットルを目安に
- 大量に汗をかいた時は塩分も忘れずに



編集後記

新型コロナの影響で私たちの暮らし方が大きく変わり、まち協・公民館・社協などの活動も規模の縮小や中止が余儀なくされています。梅雨が終わると猛暑が予想され、暑さに負けない、コロナにも負けない健康な体を作っていきましょう。